

# 野西と青森山田王手

7日決勝

全国高校サッカー  
青森県大会2次予選

第100回全国高校サッカー選手権青森県大会2次予選第4日は3日、青森市カクヒログループアスレチックスタジアムで準決勝を行った。八学野西は延長の末、八学光星に1-0で勝利。青森山田は弘中央を22-0と圧倒し、それぞれ決勝進出を決めた。決勝は5年連続で同じ対戦カードとなる。

決勝は7日正午、同会場でキックオフ。優勝校は全国大会（12月28日～来年1月10日・東京都ほか）に出場する。

（上村公悟）

【八学光星－八学野西】延長後半1分、八学野西はFW町屋紅斗（右）がシュートを決め、1-0とする＝青森市カクヒログループアスレチックスタジアム



青森山田	22	0	0
弘中央	13	1	0
八学野西	1	0	0
八学光星	0	1	0

## 光星と兄弟校対決延長で下す

## サイド攻撃、粘り強く

○…八学野西延長まで、つて、相手守備を揺さぶった。延長前半までは相手に中サイド攻撃を徹底し、最後に均等を破った。MF木村中央からの攻撃を封じられ、大陣主将は「両サイドを使

【八学光星－八学野西】後半、八学光星はFW室館裕（右から2人目）がシュートを放つ



## 光星、一瞬の隙悔やむ

○…八学光星は相手の攻撃力を封じるべく、5バックで守りを固めたが、延長後半に失点し、力尽きた。5年ぶりの決勝進出を逃し、MF長内大虎主将は「一瞬の隙を突かれた。マークのずれを修正できていれば…」と悔やんだ。無失点に抑え、少ない好機を生かし

切る作戦だったが、攻撃では決定機をつくれず、シュート数はわずか2本。長内主将は「パスや連係の質の差を感じた」とうなだれた。一方、守備では体を張ったプレーで相手のシュートを防ぐなど、延長前半まで踏ん張った。畑中孝太監督は「最後までよく走って、粘り強く戦ってくれた。気迫を感じた」と選手をねぎらった。